

●比較動物学まとめ ～エキゾチック動物編～

	ウサギ	フェレット	ハムスター	デグー	フクロモモンガ	チンチラ	ハリネズミ
分類	ウサギ目	イタチ科	げっ歯類	げっ歯類	有袋類	げっ歯類	ハリネズミ目
繁殖生理	持続発情 交尾排卵動物 重複子宮	季節繁殖動物 交尾排卵動物	周年繁殖 自然排卵 不完全発情周期 [4-5日]	季節繁殖だが飼育 下では周年繁殖	季節繁殖だが飼育 下では周年繁殖	季節繁殖だが飼育 下では周年繁殖	周年繁殖 交尾排卵動物
寿命	6～13年	5～6年	2年前後	7～9年	10～14年	10～17年	5～10年
妊娠期間	30日	※去勢・避妊済み	16～18日	86～93日	※	105～118日	34～37日
ポイント	<p>筋肉が発達しているわりに骨はもろい⇒骨折しやすい</p> <p>歯は常生歯で一生涯伸び続ける⇒不適切な食事で不正咬合の可能性あり</p> <p>盲腸や結腸で発酵させ（後腸発酵）、盲腸糞を食糞する</p> <p>正常でもオレンジ色に近い色を呈する</p> <p>換毛は春と秋にあり、抜けた毛により消化管障害</p> <p>保定時に無理に負荷をかけると骨折や脱臼</p> <p>ウサギの好中球は「偽好酸球」</p>	<p>短期間でシャンプーを繰り返すと皮脂の分泌量が多くなり体臭や皮脂汚れが悪化する</p> <p>頸部の皮膚を保持する保定を行う</p> <p>予防：ジステンパー、フィラリア</p> <p>誤飲誤食には十分に注意</p>	<p>低温環境下では冬眠する（飼育下のハムスターは冬眠させないようにする）</p> <p>単独飼育が原則⇒闘争の未食い殺すこともあり</p> <p>切歯は常生歯</p> <p>草食に近い雑食性</p> <p>保定時に容易に眼球突出を生じる</p>	<p>糖尿病、白内障、アルツハイマーなどの研究対象にもなる</p> <p>社会性を持ち複数での飼育が推奨される</p> <p>完全草食動物</p> <p>低糖質な食事を与えなければ容易に糖尿病になる</p> <p>保定時に尻尾の皮膚をつかむと抜ける</p>	<p>未熟な状態で出生した新生仔は育児嚢内で母乳を吸って育ち、2カ月齢ごろから袋から出る</p> <p>総排泄孔を持つ</p>	<p>飼育ケージは跳躍力があるため高さがあるものを選択</p> <p>寒さに強く暑さに弱い（25℃以上で熱中症にかかるリスクあり）</p> <p>砂遊びは皮脂腺からの分泌物が固まり被毛が固まるのを防ぐため毎日（最低週2～3回）実施⇒結膜炎などに注意</p> <p>保定の際に被毛をつかむとまとまって抜ける⇒FarSlipといい、生えそろうまでに長期間を要する</p> <p>不適切な抗菌剤の投与による腸毒血症に注意</p>	<p>マンシュウハリネズミやナミハリネズミは「特定外来生物」に指定されているため飼育は禁止（ヨツユビはOK）</p> <p>夜行性の昆虫食</p> <p>盲腸を欠く</p> <p>★アンチング（口腔内に満たした唾液を針に塗る行動）</p>
疾患	スナッフ 不正咬合 消化管疾患 前庭疾患（エンセファリトゾーン症）	副腎疾患 インスリノーマ リンパ腫	頬袋脱	糖尿病			疥癬症 子宮疾患